

中経連

7・8
2025 July・August
Vol.378

未来につなぐ
地域の文化

にほんだいら
日本平



日本平から望む富士山と清水港の夜景

SHIZUOKA

千字
万感

学校法人愛知学院
理事長
龍谷 顯孝

特集

2025年日本国際博覧会
(大阪・関西万博)
特集第3弾

- 中期活動指針「ACTION 2030」
- 第14回定時総会
- 中経連会員コラム「コーヒーブレイク」
株式会社光機械製作所 代表取締役社長 西岡 慶子

CONTENTS

1	千字万感	学校法人愛知学院 理事長 龍谷 顯孝
2	中期活動指針「ACTION 2030」	
4	第14回定時総会	
9	特集	2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博) 特集第3弾
13	委員会活動	
15	中経連ダイジェスト	
18	レポート「CO ₂ 排出量算定などの運用に関する調査結果」	
20	最近の要望活動	
21	中経連会員コラム「コーヒーブレイク」	(株)光機械製作所 代表取締役社長 西岡 慶子
22	特集	ツーリズムEXPOジャパン2025愛知・中部北陸
24	新入会員紹介	真永工業(株) / 日鉄興和不動産(株) / 富士ソフト(株)
27	Garage Nagoya Topics	
30	中部圏の景況感の現状と見通し	

表紙 | 未来につなぐ地域の文化

日本平 静岡県静岡市

日本平は、静岡市南部に位置する有度山(標高307m)の山頂とその一帯にわたる丘陵地です。名称は日本武尊が草薙の原で自身を火攻めにした賊を平定した後、山頂で四方を眺めたことに由来します。周辺には徳川家康ゆかりの国宝・久能山東照宮や日本平山頂と久能山を結ぶ日本平ロープウェイ、日本平動物園のほか、山頂エリアには日本平夢テラスや日本平ホテルなどがあります。山頂の各展望スポットからは富士山や南アルプスをはじめ、駿河湾、伊豆半島、三保松原など、静岡を代表する名所を360度のパノラマで堪能できます。日没には、紫や青色のグラデーションに染まった空や海と美しい富士山を背景に、清水港を照らすオレンジの光と市街地に灯るネオンライトが景観を彩り、訪れる人々を魅了します。

また、夜型マルシェ(毎月第4土曜日開催)やいちご海岸通りでの苺狩り(1月~5月上旬開催)、久能山東照宮御例祭(4月開催)など、1年を通してさまざまな行事が催されています。国内外を問わず多くの人々が訪れる名勝地であり憩いの場所です。



日本平夢テラスからの景色。施設は隈研吾建築都市設計事務所が設計。





け たい 懈怠に思ふ

学校法人愛知学院

理事長 龍谷 顕孝

千 字 万 感

ここ数年、チャットGPTをはじめとする生成AIの発達が目覚ましい。

生成AIの発達については、十年程前に野村総研の報告書により、どの業種がAIに取って代られることとなるか喧伝されることがあった。身体や精神に関わる仕事や創造性が求められる仕事はAIに奪われる可能性が低いと言われてきたが、もはやシンギュラリティ(人智を超える)も近いのではないかという識者もいる。事実、最近の戦争では、自らの判断で相手の敵性を推理し、攻撃を行うドローン兵器なども登場している。しかし、この判断に基づく攻撃は正しい判断によるものであろうか。

コンピューターは人間がプログラミングして始めて動作が可能となる。この時、言葉を用いる必要がある。人間が言葉で表現してプログラミングコードに落とし込むのが難しい動作はそもそも機械化しようがないこととなる。このようなパラドックスは「ポランニーのパラドックス」と呼ばれる。

一方、人間は言葉で表現できる以上のことを知っている。これを『暗黙知』と呼ぶ。この『暗黙知』が、創造性溢れる科学的探究の原動力となり、この力が潜在的可能性を開くものとなる。どこか、佛教でいう『阿頼耶識※1』として仕舞い込まれてきた潜在意識や、『空※2』の論理として関係性の中に浮かび上がる真理を思い起こされる。

今年1月のトランプ政権発足の後、新しいルールが何かわからない、混沌の時代に突入している感がある。技術開発により、政治、経済、宗教、文化あらゆるものがテクノロジーによって再形成されることとなるかも知れない。

歴史上最大の変化が今すでに起こっている。

日々膨大な情報に触れ、時に誤った情報で怒りや憎しみを増大させる現代の我々、間違いはあるけれども修正していくことで情報の質を上げていくことしかないであろうか。子供の頃にSF好きの友人に聞いたアシモフの「ロボット工学三原則」や手塚治虫の「鉄腕アトムのロボット法」を思い出す。

ちなみに、「ロボット工学三原則」は以下のとおりである。

- 第1条 ロボットは、人間に危害を加えてはならない。また、その危険を看過することによって、人間に危害をおよぼしてはならない。
- 第2条 ロボットは、人間に与えられた命令に服従しなければならない。しかし、あたえられた命令が第1条に反する場合はこの限りではない。
- 第3条 ロボットは、前掲第1条および第2条に反するおそれのない限り、自己を守らなければならない。

※1 人間の存在の根底に流れる意識のこと。経験を蓄積し、心の活動のよりどころとなる。

※2 一つひとつの事象や物事は独立して存在するわけではなく、多くの要因と相互に関連しながら存在しているという考えに基づく概念。因果や縁起と密接に関連している。

中期活動指針「ACTION 2030」

～豊かで持続可能な社会の実現に向けた3つの貢献～

わが国で、人口減少や地球環境への対応が深刻化する中、中経連は、2050年頃には日本が「**豊かで持続可能な社会**」を実現していることを目指す「中部圏ビジョン2050」（以下、ビジョン）を2025年2月に策定した。ビジョンでは日本の課題と対応の方向性を整理し、中部圏が貢献できること、すなわち中部圏の目指す姿として「**産業の進化と多様化**」「**人材・働き方の高度化**」「**魅力と活力ある地域社会の形成**」の3つを掲げた。この目指す姿の実現に向け、同年6月には、中経連の役割と活動を整理するとともに、足元から5年間（2025～2029年度）における中期活動指針として、「ACTION2030」を策定した。今後はこの指針に則り、「豊かで持続可能な社会」の実現に向けた取り組みを推し進めていく。

中経連の役割と活動

ビジョンで目指す「豊かで持続可能な社会」の実現に向けては、多様なステークホルダーで構成するプラットフォームにおける活動やオープンイノベーションの推進など、さまざまなプレイヤーが連携する枠組みや対応がより重要となることも踏まえ、中経連が担う役割・活動を次の4つに整理した。

- ①多様なステークホルダーと協働で、産学官金・地域間の「連携・共創」を引き出す**プラットフォームの創出・運用**。それを通じた新技術の社会実装や産業による社会システムの変革につなげる多種多様なエコシステム形成への貢献
- ②社会の変革推進に資する**情報の収集・横展開による啓発**
- ③中部圏内外における諸課題の解決に向けた**地域や会員の声を束ね、国へ届ける政策提言**
- ④**広域経済団体として地域をまとめる活動**

中期活動指針「ACTION 2030」の活動

ビジョンでは、日本全体が抱える課題の解決に向けて中部圏が貢献できることを「中部圏の目指す姿」としている。このことから、ACTION2030のサブタイトルは「豊かで持続可能な社会の実現に向けた3つの貢献」とし、DX・GXやAIを最大限活用した「産業の進化と多様化」「人材・働き方の高度化」「魅力と活力ある地域社会の形成」への3つの“貢献”を活動の柱としている。

3つ目の柱である「魅力と活力のある地域社会の形成」は、「産業の進化と多様化」「人材・働き方の高度化」の土台となる活動である。新型コロナウイルスを巡るさまざまな混乱を経て、社会・人々の価値観に変化・多様化が見られる中、中経連もそれらに合わせた土台づくりへ

の貢献が求められる。これまで重視してきた効率性や利便性の追求だけでなく、暮らしや仕事における「豊かさ」や「楽しさ」など、人々のウェルビーイングを高めることにも焦点を当て、中部圏をヒト・モノ・カネ・情報を惹き付ける地域にすることを目指す。また、それら中部圏の魅力を国内外に発信することにも注力していく。

このような土台づくりと並行し、「産業の進化と多様化」「人材・働き方の高度化」にも取り組み、好循環を創出することで、中部圏がモデルエリアとして日本を先導し、豊かで持続可能な社会の実現に貢献することを目指す。



1. 産業の進化と多様化への貢献

(1) DX・GXの推進

- ・DX・GXを先導する先進技術の社会実装に向けた取り組みやエネルギー環境政策に関する提言活動。
- ・製造業のスマート化の推進につながる調査・研究やデジタルツインなどの最新技術の普及活動。
- ・次世代モビリティの社会実装に向けたCAMIP*活動の進化。
- ・多様な産業の集積に向けた産学官による活動や半導体産業の振興に資する活動。

※中部先進モビリティ実装プラットフォーム：中部圏が将来にわたり「次世代モビリティ産業の世界的中心」であり続けるため、より効果的な産学官連携の推進を目的に、2021年5月に中経連と名古屋大学が共同で立ち上げた活動体。

(2) イノベーション・スタートアップ振興

- ・各地のイノベーション支援拠点の連携など、スタートアップ・エコシステムの形成に向けた活動。
- ・ナゴヤ イノベーターズ ガレージでの提供プログラムの充実や長期戦略の検討・推進。

(3) 非製造業の進化と多様化に向けた取り組み

- ・県境を越えた関係者間での情報共有や中央日本総合観光機構の支援を通じた広域観光の振興。
- ・ライフケア産業とモビリティ産業の連携など、社会システムの変革に資するテーマの調査・研究や中部圏社会経済研究所などと連携した第一次産業の振興。

2. 人材・働き方の高度化への貢献

(1) 高度人材やものづくり人材の育成・活躍

- ・C²-FRONTS(シー・フロンツ)と連携した博士人材の育成など、高度人材の育成に向けた取り組み促進。
- ・製造業を支えるものづくり人材の育成・確保やその技術の発信、STEAM教育*の充実に向けた支援。

※科学、技術、工学、芸術・リベラルアーツ、数学(Science、Technology、Engineering、Arts、Mathematics)の5つの分野を総合的に学ぶ教育方法。

(2) 労働参加の拡大・多様な人材の活躍促進

- ・リカレント・リスキリング教育など、学習機会の拡充を通じた、進化・多様化する産業に必要な人材確保の支援。
- ・副業・兼業制度を活用した大企業人材の派遣やエッセンシャルワーカーのデジタルを使いこなす人材への転換。
- ・労働法制の見直しやDE&Iの推進など、先進的かつ働きやすい環境整備に向けた活動。
- ・外国人材に関わる制度や受け入れ環境の調査・研究、外国人留学生との交流など、地域定着に向けた支援。

3. 魅力と活力ある地域社会の形成への貢献

(1) リニア中央新幹線開業効果・日本中央回廊の形成効果の最大化

- ・港湾機能の強化やセントレア第二滑走路の実現など、交通ネットワークの早期整備に向けた政府への働きかけ。
- ・中部圏の地域特性・立地優位性の発信や自治体と連携した誘致活動。
- ・都市機能の高度化に向けた調査・研究の推進。

(2) 交通ネットワークの維持・形成

- ・交通ネットワークの充実に向けた次期「中部圏交通ネットワークビジョン」の策定やセントレアの需要喚起に向けた活動。

(3) レジリエンス(防災・減災)の強化

- ・BCP策定および実効性向上に向けた支援など、自助としての企業の減災力強化に向けた支援。
- ・産学官連携体制の構築支援など、共助による地域の減災力強化に向けた働きかけ。
- ・公助となるインフラの減災機能強化につながる提言や行政への要請活動。

(4) 人口減少社会・東京一極集中の是正に相応しい広域行政への転換

- ・「地方創生2.0」を踏まえた政府機関の地方移転など、東京一極集中是正に向けた機運の醸成。
- ・広域圏で施策展開が求められる領域としての広域連合の活用など、広域行政のあり方に関する調査・研究の推進。

(5) 魅力ある地域づくり

- ・経済政策や税制改正、規制緩和など、地域や会員の声を踏まえた政策提言や要請活動。
- ・製造業のスマート化による職場・職種の拡大など、若者にとって魅力ある働く場の創出。
- ・中部圏各地のエンターテインメント施設の活用による魅力づくりや、新たな文化・遊びの創造に対する支援。
- ・雄大な自然や匠の技など、中部圏ならではの魅力の掘り起こし・発信。
- ・国際的なイベントのレガシーの活用や「中部の魅力を語る なでしこの会」「地域産品イベント」を通じた魅力の発信の強化。
- ・外国にルーツを持つ子どもたちの支援や外国人とその家族の生活をサポートする制度充実に向けた行政への働きかけ。

第14回定時総会

6月18日(水)、中経連は第14回定時総会を名古屋市内にて開催。オンラインを含め約220名が参加した。

定時総会概要

定時総会では、「2024年度事業報告および附属明細書」「2025年度事業計画書および2025年度収支予算書」について報告した。また、「2024年度計算書類等(案)」「理事24名選任」について審議し、原案どおり承認された。定時総会に引き続き、第56回理事会、記念講演会ならびに会員交流会を開催した。記念講演会では、日本オリンピック委員会理事、日本パラリンピック委員会強化本部長の谷本歩実氏より「『夢を叶える思考力』～ポテンシャルの引き出し方」と題して講演いただいた。



水野前会長 開会挨拶



<はじめに>

本日はご多用の中、愛知・岐阜・三重・静岡・長野の各県より、またオンラインを通じて、多くの皆様にご臨席いただきました

こと、心より御礼申し上げます。

日頃より、中経連の活動に温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。皆様のご協力こそが、地域の未来を切り拓く力の源であり、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

<不確実な時代への対応>

いま、世界経済は、かつてない不確実性の中にあります。米国による追加関税が製造業へ大きな影響を及ぼし、企業は調達や価格戦略の見直しを迫られています。その影響は非製造業にも波及し、個人消費や設備投資にも陰りが見え始めています。このような状況だからこそ、日本政府には、日米双方にとって実りある着地点を慎重に見極めつつ、中小企業や地域の裾野産業に対する持続的な成長に向けた支援の充実を期待したいと思います。中経連としても、会員企業の声を丹念に拾い上げ、国へ粘り強く届けてまいります。

<5年間の振り返り>

さて、本日の総会は、私にとりまして、会長として最後の機会となります。この5年間を振り返りますと、コロナ禍をはじめ数々の困難がありましたが、皆様の支えがあったからこそ、中経連はその都度、新たな一步を踏み出すことができました。

■連携の力

就任当初、私は「中経連は地域のために何ができるのか」を問い直しました。そこで辿り着いた答えは、「**連携**」こそが“**地域の可能性を切り拓く鍵**”であるということでした。地域間と産学官金の連携を通じて、中部圏に新たな価値を創出する。中経連はその「**つなぎ役**」として、イノベーションの推進や産学官プラットフォームの構築、広域連携の基盤づくりに取り組んでまいりました。また、**地域の声を束ね、中央に届ける「代弁者」**として、インフラ整備や税制改正に関する政策提言など、粘り強く推進してまいりました。加えて、会員アンケートから見てきた現場の声や「中部の魅力を語る なでしこの会」で議論された地域の魅力なども、報道などを通じて社会へ発信し、地域の活力向上に寄与してまいりました。さらに、「**挑戦を引き出す起爆剤**」としての役割を果たすべく、ナゴヤ イノベーターズ ガレージを拠点に、次世代を担う若者や起業家が集い、学び、挑戦できる環境づくりを進めてまいりました。

■持続可能な発展に向けて

一方で、人口減少や東京一極集中など、地域社会の根幹を揺るがす課題にも直面し続けています。**中部圏が持続的に発展するためには、産学官金が一体となり、課題解決に向けて取り組むことが必要**です。この2月、中経連は「中部圏ビジョン

2050」を策定し、未来に向けた「羅針盤」を示しました。今後は、このビジョンを旗印に、具体的な行動へと歩みを進めてまいります。

もちろん、地域には明るい話題も広がっています。名豊道路の全線開通や東海環状自動車道の整備、中部国際空港での代替滑走路工事の着手など、交通ネットワークの拡充が着実に進んでいます。また、IGアリーナの始動や高級ホテルの開業など、人流を呼び込む都市の再構築も進んでいます。今年秋、「ツーリズムEXPOジャパン」が愛知で初開催されるほか、グローバルスタートアップイベント「TechGALA Japan」の第2回も控えています。来年秋には「アジア・アジアパラ競技大会」、2027年にはアジア開発銀行の年次総会、そして2028年には技能五輪国際大会が開催される予定です。**これらの機会を最大限に生かし、中部圏の魅力を世界へ発信し、“未来へのレガシー”を築いてまいりたいと考えています。**

そのためには、会員の皆様の積極的なご参画とご協力が不可欠です。ともに力を合わせ、中部の活力を次代へとつないでまいりましょう。

<おわりに>

結びに、中経連はこれからも、地域間や産学官金の連携を通じて、地域の挑戦を後押しする存在として、その役割を果たしてまいります。そして、皆様とともに、新たな時代を切り拓いていくことを、心より楽しみにしております。

今後とも、変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げ、私の開会の挨拶とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。

勝野新会長 就任挨拶



<はじめに>

本日、第16代中経連会長に選任いただきました勝野でございます。

私は5年間、副会長を務めてまいりましたが、この度は会長と

いう大任を仰せつかり、改めて身の引き締まる思いであります。微力ではありますが、中部圏の持続的な発展に向けて、中経連の活動に全力を傾注する覚悟でありますので、水野前会長と同様、ご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。また、水野前会長におかれましては、5年間、中部経済界のリーダーとして当地の発展に貢献され、多大なご功績を残されましたことに對し、心からの敬意と感謝を表したいと存じます。今後は、特別顧問として、引き続き大所高所からのご指導をよろしくお願いいたします。

<現状認識>

さて、わが国は現在、加速する人口減少や東京一極集中に伴う地方の人手不足に直面するほか、米国による関税政策、とりわけ、自動車産業への関税が当地経済の先行きに不透明感をもたらしています。加えて、さまざまな領域における米中対立、ウクライナや中東の不安定な情勢などの行方によっては、世界経済全体の減速を招くリスクが想定されます。

<活動の3本柱>

このような中においても、時代の潮流を確実に捉え、進むべき方向を見定めた上で、中部圏の明るい未来の実現に向けて力強く前進していくことが重要です。私は、その道のりを成長軌道につなげていくにあたり、「**広域連携の強化**」「**オープンイノベーションの促進**」「**人材の育成・活躍**」の3つを活動の柱に位置付け、取り組みを推進していきたいと考えております。

■広域連携の強化

まず、第1の柱に掲げる「広域連携の強化」は、中経連が担う一丁目一番地の役割であり、特に力を注いでまいります。具体的には、広域の産学官金による連携のもと、社会・経済活動の土台となる防災・減災に向けた取り組みのほか、東京一極集中の是正に向けた活動、魅力溢れるまちづくりや観光振興に資する施策などを推進していきます。本年3月に、南海トラフ巨大地震による甚大な被害規模が公表された中、**企業の災害に対する対応力向上をはじめ、中部圏域内外の自治体間における連携強化などは、先送りできない「待ったなし」の課題**です。

一方、少子化や若者の首都圏への流出に伴う地方の人手不足に歯止めがかからない中、**東京一極集中を是正し、多極分散型の社会を構築することは、中部圏はもとより、わが国の持続的な発展に向けて不可欠**です。例えば、政府の「地方創生2.0」でも掲げられている中央官庁の地方移管や経済圏の実情に対応できる広域行政のあり方に関する調査・研究への着手など、東京一極集中は是正に向けた活動を強化していきます。同時に、国内外から中部圏に人を呼び込み、地域活性化につなげるためには、リニア中央新幹線の開業を見据えたインフラ整備やまちづくりのほか、**当地が有する魅力を国内外に向け、絶え間なく情報発信していくことが重要**です。

中部圏は、美しい日本アルプスの山々をはじめ、木曾三川や天竜川、大井川といった河川、伊勢湾、三河湾、駿河湾などの自然環境に恵まれています。「人間と自然の共生」や「利他の精神」など、自然とともに育んできた日本の多様な価値観と、その多彩な魅力を官民が連携して発信していきたいと思っております。

■オープンイノベーションの促進

2本目の柱は、オープンイノベーションのさらなる促進です。中部圏は元来、さまざまなイノベーションが積極的に進められ、製造業のサプライチェーンを発展させてきました。今後、経済・

社会とともに持続的な成長を遂げていくためには、**オープンイノベーションを通じた「新しい価値の創出」**による、**産業の進化と多様化が不可欠**と考えています。こうした新しい価値の創出には、オープンイノベーションに向けたさまざまな連携が必要であり、これまで培ってきた、ナゴヤ イノベーターズ ガレージや他のイノベーション拠点との連携が、より重要になってきます。例えば、自動車産業においては、自社内はもとより、調達先の部品メーカーや中堅・中小企業を含むサプライチェーン全体が、データとデジタル技術を通じて各工程でつながり、より質の高いサプライチェーンと化すことで、**新たな価値の創出やGXとDXの同時達成が期待**されます。**製造業における技術力は、G A F Aには無い強みであり、他の企業やサービスプロバイダーなどと連携することで、新たな価値の創出やエコシステム形成に資するオープンイノベーションの源泉**になると考えています。また、オープンイノベーションの促進にあたっては、産学官金が技術の研究段階から社会実装後の姿を共創し、知財戦略や国際規格・標準化までの道筋を描いた上で、連携を深める必要があります。

■人材の育成・活躍

第3の柱は、当地の持続的な発展の原動力となる「人材」の育成・活躍に向けた取り組みの推進です。**ガレージで学び、育った学生や起業家が挑戦し、活躍できる場づくりを進める**ほか、AIやロボットなどの先端技術分野に明るく、**多様な人材を束ね、オープンイノベーションを推進できるリーダーを育成していくことが重要**です。当会は、大学のシーズと企業ニーズをマッチングさせる活動を通じ、博士人材や高度外国人材の活躍を支えるとともに、STEAM教育の推進など、新たな価値を創出し、製造業のスマート化に貢献できる人材の育成に向けた活動を展開していきたいと思ひます。

■半導体産業の振興に向けた共同検討会の設置

そして、3本柱を力強く進展させる推進力として、また将来の新たな成長基盤を築く施策として、当地における半導体産業のさらなる振興に資する取り組みを起動してまいります。世界的な

デジタル化の進展やAI技術の需要拡大が続く中、あらゆる社会・経済活動に深く関連する半導体産業は、日本の国際競争力を高める成長エンジンとして期待されています。「**産業のコメ**」として、**あらゆる分野の製品を支える半導体は、とりわけ、ものづくりのメッカである中部圏において、より利用価値が高まるもの**と考えております。足もとでは、北海道や九州を中心に最先端半導体工場の新設が続く中、中経連は今後、**当地の全国立大学などで構成する連携組織「C²-FRONTS^{シー・フロンツ}」**とともに、**当地における半導体産業の振興に向けた広域的な共同検討会を設置**いたします。まずは、半導体産業に関連する会員企業や関係者からの声に耳を傾け、振興に向けて中部圏として貢献できる役割、領域を探求するほか、当地における半導体人材の育成と活躍に資する仕組みづくりに向けた検討を進めてまいります。将来的には、このような取り組みが、**中部圏における「製造業のスマート化」や「ものづくりのすり合わせ技術」を支えるような動きとなっていくことを期待**しております。

＜おわりに＞

結びに、以上、申し上げましたように、中部圏の明るい未来の実現に向けて、粉骨砕身、全力で取り組んでまいりる所存であります。

私は、趣味とする登山から、「どんなに高く険しい山も、一歩ずつ歩み、挑戦を続ければ、必ず頂上に辿り着く」ことを学びました。現在、我々、中部経済界の眼前に広がる「不確実性」という山とも真正面から向き合い、地域や会員の皆様の声を集め、力を合わせながら、一歩一歩着実に、頂へ向けた歩みを進めていきたいと思ひます。**魅力、活力に富み、わが国をけん引する中部圏づくりに向け、会員の皆様をパワーの源に、『声と力をつなぎ、成し遂げる中経連』**として、挑戦を続けてまいります。引き続き、皆様からの忌憚のないご意見やお力添えをいただきますようお願い申し上げます。私共の挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

新役員体制紹介

会 長	勝野 哲	中部電力株式会社 代表取締役会長
副 会 長	柘植 康英	東海旅客鉄道株式会社 相談役
	村瀬 幸雄	株式会社十六銀行 代表取締役会長
	安藤 隆司	名古屋鉄道株式会社 代表取締役会長
	大島 卓	日本ガイシ株式会社 代表取締役会長
	中田 卓也	ヤマハ株式会社 取締役会長
	神野 吾郎	株式会社サーラコーポレーション 代表取締役社長 兼 グループ代表・CEO
	大西 朗	株式会社豊田自動織機 取締役
	安藤 仁	日本トランスシティ株式会社 代表取締役社長 社長執行役員
	松下 正樹	株式会社八十二銀行 代表取締役頭取 頭取執行役員
	高原 一郎	株式会社三菱UFJ銀行 取締役副頭取執行役員
	青木 武志	イビデン株式会社 代表取締役会長
	宮崎 洋一	トヨタ自動車株式会社 代表取締役副社長
	杉浦 雅和	株式会社百五銀行 取締役頭取
	林 欣吾	中部電力株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 CEO
	小川 恭範	セイコーエプソン株式会社 取締役会長
	柴田 久	株式会社しずおかフィナンシャルグループ 代表取締役社長
理 事	松尾 清一	国立大学法人東海国立大学機構 機構長
	中村 宗一郎	国立大学法人信州大学 学長
	平光 範之	日本製鉄株式会社 常務執行役員名古屋製鉄所長
	北川 尚子	東海東京証券株式会社 代表取締役社長
監 事	大津 正己	川北電気工業株式会社 代表取締役社長
	杉浦 正樹	中部日本放送株式会社 代表取締役会長
	鏡味 伸輔	東邦ガス株式会社 代表取締役副社長執行役員
	藤田 直樹	株式会社みずほ銀行 常務執行役員
事務局役員	平松 岳人	専務理事
	宮本 文武	常務理事事務局長
	根本 恵司	常務理事

(2025年7月時点、敬称略)

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博) 特集第3弾

4月13日(日)、大阪・関西万博(2025年日本国際博覧会、以下「万博」)がついに開幕しました! 本誌では2024年3・4月号、2025年1・2月号に、万博開幕に向けて盛り上がる大阪市内の様子や万博の魅力をお伝えしてきました。今号は第3弾として、中経連職員が現地で見聞した万博会場の様子を特集します。「万博に行ってみようか。どうしようか」と迷っている方、「チケットは買ったが、どのように会場を巡れば良いか」と検討中の方など、是非ご参考になしてください。



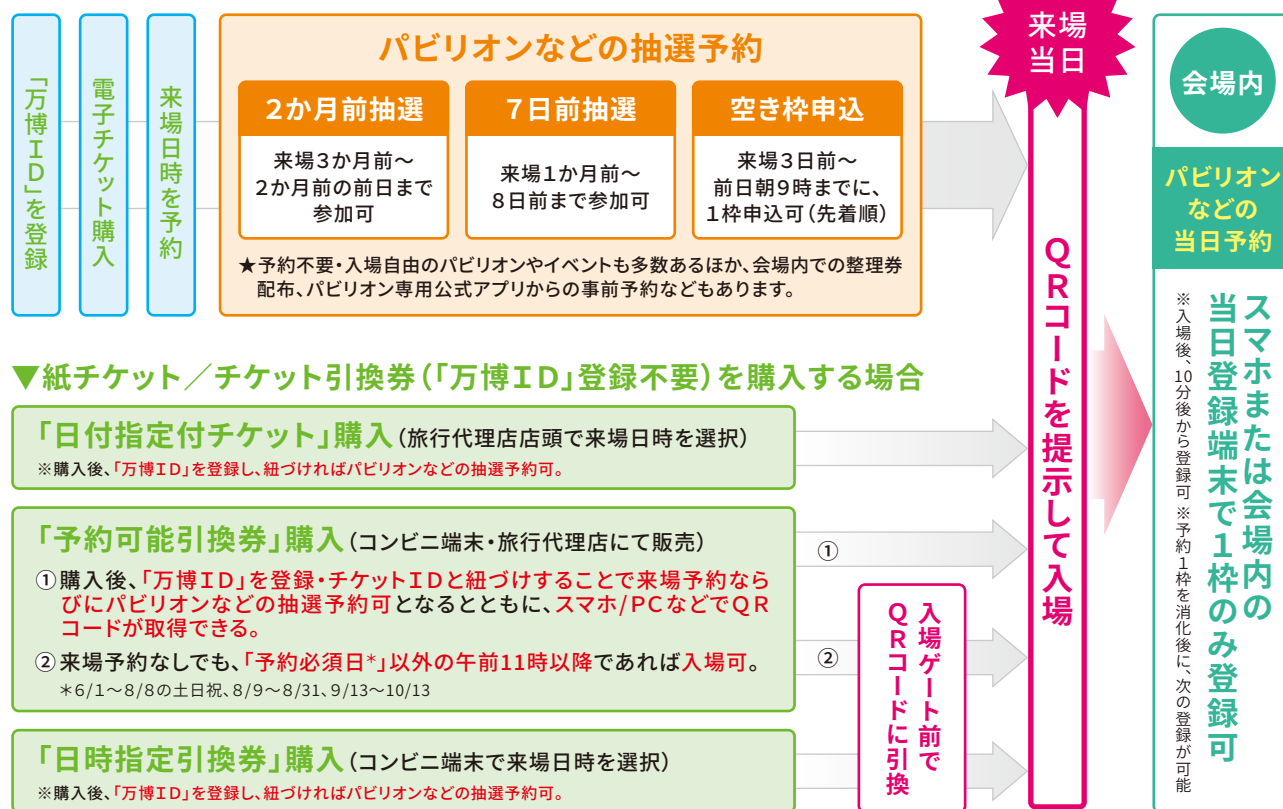
シグネチャーパビリオン「null」

大屋根リング

巨大ミyakumyaku像

オーストラリア館

チケット購入から入場までの流れ



チケットの種類

チケット概要		大人 (満18歳以上)	中人 (満12-17歳)	小人 (満4-11歳)
一日券	会期中いつでも1回入場可	7,500円	4,200円	1,800円
平日券	土日祝を除く平日11時以降1回入場可	6,000円	3,500円	1,500円
夜間券	会期中いつでも17時以降1回入場可	3,700円	2,000円	1,000円

チケット概要		大人 (満18歳以上)	中人 (満12-17歳)	小人 (満4-11歳)
夏バス (8月31日まで販売)	2025年7月19日から2025年8月31日まで11時以降何度でも入場可	12,000円	7,000円	3,000円
通期バス (10月3日まで販売)	2025年4月13日から2025年10月3日まで11時以降何度でも入場可	30,000円	17,000円	7,000円
特別割引券 (会期終了まで販売)	障がい者手帳等をお持ちの方及び同伴者1名が購入可能 会期中いつでも1回入場可	3,700円	2,000円	1,000円

※価格は税込です。※年齢は2025年4月1日時点の満年齢です。3歳以下の方は無料となります。※入場チケットは、スマートフォンやパソコンから購入できます。また、旅行代理店や各種プレイガイドなどでも購入できます。※来場にあたっては原則来場日時予約が必要となります。※団体割引券もあります。※チケットの詳細については万博公式WEBサイトをご確認ください。

「万博ID」登録
はこちらから



チケット購入は
はこちらから



2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博) 特集第3弾

万博会場内の歩き方(一例) ———— 中経連取材レポート

会場内は**すべてキャッシュレス**です!
クレジットカード、電子マネー、コード決済などの
支払い手段を用意ください。

朝

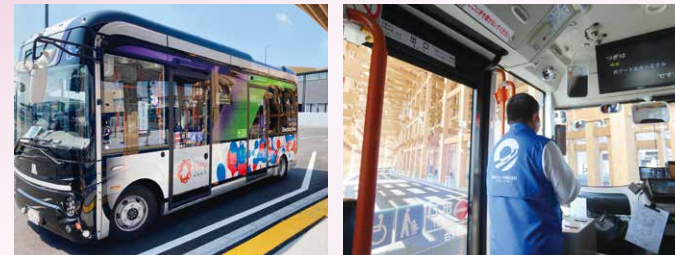
Osaka Metro 夢洲駅に到着、東ゲート(右下図①)より入場



待機列には屋根がないため、日差しや雨への対策を!
入場前の荷物検査ではスマホやペットボトル・マイボトル
はカバンから出しやすく、**入場チケットのQRコードは
事前に紙で印刷しておく**とスムーズに入場できる。

9:30ごろ～

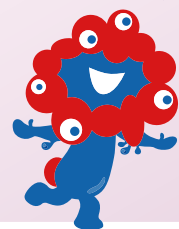
東ゲート南停留所(時計回り) ② から、EVバス「e Mover」(有料)に乗車



大屋根リングの下を走るルートは**圧巻!**
広い会場内を一日歩き回るための体力を温存できる。
子連れや高齢の方にもオススメ! **西通り④**に行きたい
場合は、「**西ゲート南停留所①A**」降車が近道。

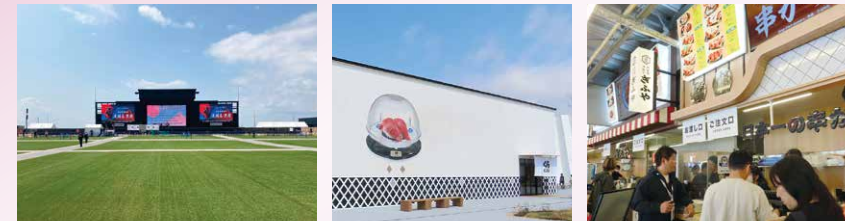
所要時間
約20分

西ゲート
北ターミナル
③



10:00ごろ～

西ゲート北ターミナル③～西通り④を散策



EXPOアリーナ「Matsuri」⑧ やくら寿司⑨ (くら寿司公式アプリで
要予約)、フードコートがある**風の広場マーケットプレイス⑩**、万博オフィ
シャルストアがある**西ゲートマーケットプレイス⑥**などが立ち並ぶ。

西通りの企業パビリオンなどを見学



GUNDAM NEXT FUTURE PAVILION⑦ (要予約)
等身大ガンダム像が目印。宇宙で生活する未来を疑似体験できる。

PASONA NATUREVERSE⑥
(予約なし入場可)
iPS心臓をはじめ未来の医療や都市を、鉄腕アトムとブラックジャックが案内してくれる。

13:00ごろ～

海外パビリオンやシグネチャーパビリオンなどを見学



オーストラリア館⑨
(予約なし入場可)
ユーカリの香りが漂う森の中を疑似体験しながら、自然環境について考えることができる。



アラブ首長国連邦館⑪
(予約なし入場可)
甘い乳香が香る中、伝統技術や国内産業などが紹介されている。レストランではアラブ料理が味わえる。

12:30ごろ～

大屋根リング⑤を散歩



11:30ごろ～

風の広場マーケットプレイス⑩で食事(予約不要)

串カツやお好み焼きなど、大阪名物が食べられる「**好きやねん大阪フードコート**」や多国籍料理が楽しめる「**グランドフードコート**」などがある。

15:00ごろ～17:00ごろ:東ゲート①から帰路へ

キッチンカーなどで休憩

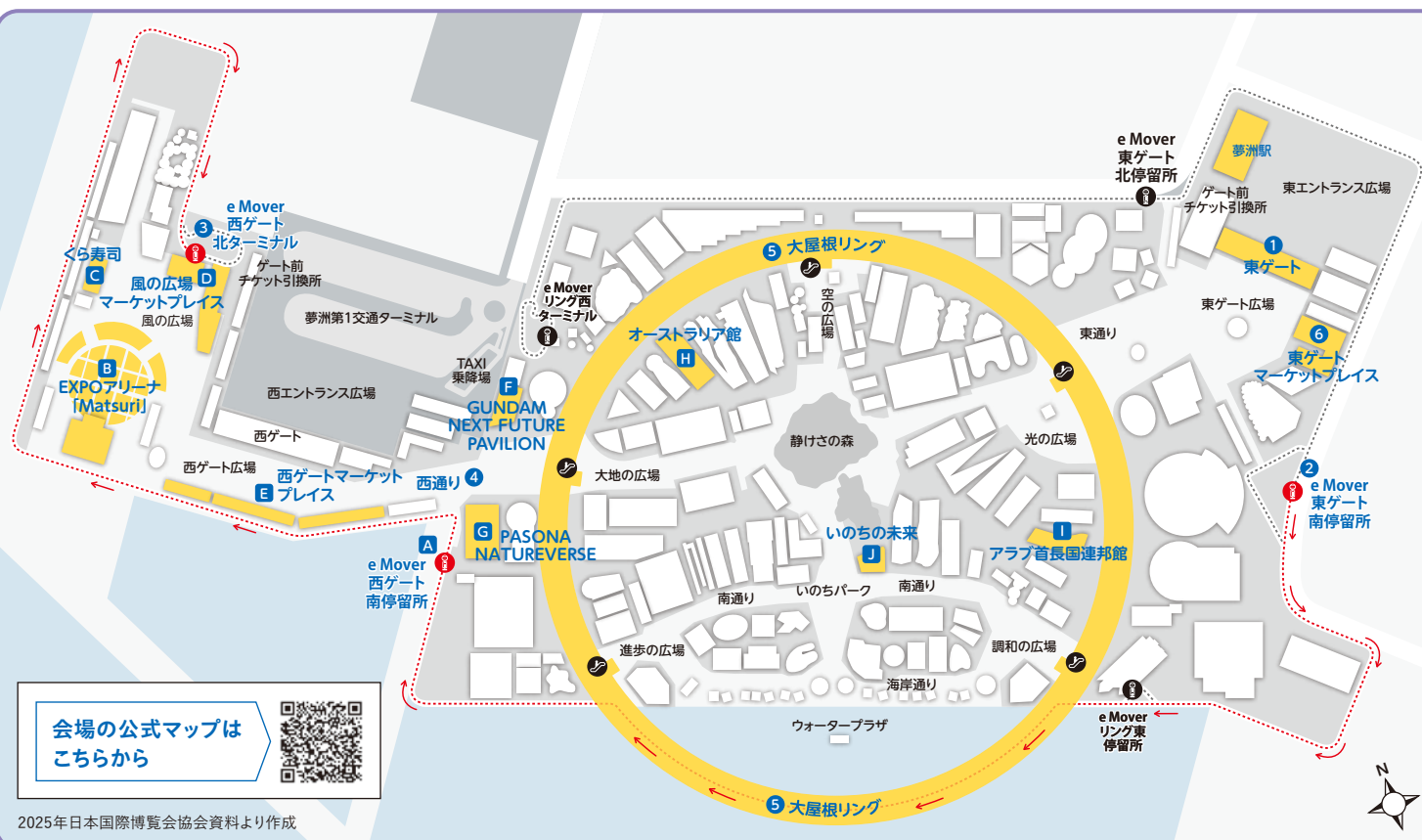


会場内にはキッチンカーや飲食店舗、パビリオン併設のレストランなどが至る所にある。テイクアウトが可能な店もある。

東ゲートマーケットプレイス⑥で買い物



万博オフィシャルストアが2店営業。公式商品がずらりと並び、**混雑が予想されるため、目当ての商品がある場合は早めの入店を!**



※記事の時間はイメージです。
※パビリオンや会場内施設の詳細は、公式HPならびに
公式マップをご確認ください。



万博、ここにも注目



給水スポットや自動販売機も多数設置されている。水分をこまめに補給し、熱中症対策を!



各所に子どもが遊べる広場やオブジェなどがある。



テーブルやベンチが多数あり、食事のテイクアウトにも対応。



各パビリオンに設置されているスタンプを記念に押してみよう。



会場では、警備や配膳、調理補助、案内など、さまざまなロボットが働いている。



パーソナルモビリティの体験もできる(会場内受付で要申込[抽選/無料])。



竹や間伐材などで作られたベンチが多数あり、デザインもユニーク。

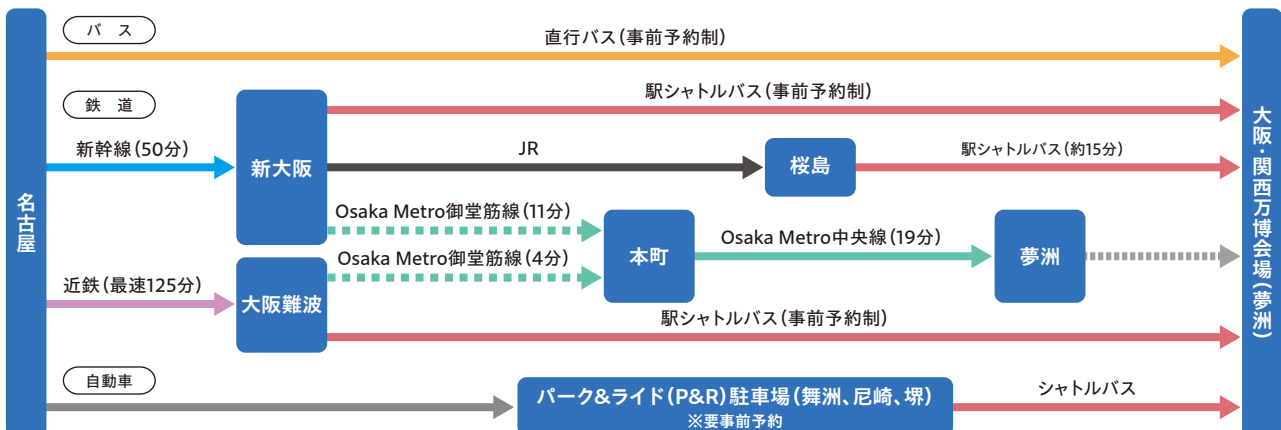
7～8月の主なイベント

開催日	イベント名	概要
7月	23日・24日	未来をつなぐeスポーツの力 - JAPAN ESPORTS CONNECT -
	30日	「あそび・まなび体験ひろば」 ～夏休みの自由研究はこれだ!～
8月	6～10日	世界遊び・学びサミット
	24～30日	デジタルライフラインによる Society5.0の実現

★上記以外にも、多種多様なイベントを毎日開催中!詳しくは、公式HPをご確認ください。

アクセス方法

電車・バスなどの公共交通機関のご利用をオススメします。



文・写真: 総務・会員サービス部 横山・平山

第2回エネルギー・環境委員会 講演会

開催日:3月28日(金) 場所:名古屋栄ビルおよびオンライン 参加者:102名

テーマ

国際社会の持続可能性について(GX with DX)

講師 中部電力(株) 代表取締役会長 勝野 哲 氏

プロフィール 1977年 中部電力(株) 入社、2015年 代表取締役社長社長執行役員を経て、2020年より現職。



講演要旨

1. エネルギー事業者から見たわが国の今後

化石燃料の価格高騰や国際紛争など、世界情勢が不透明感を強める中、わが国では2022年から、内閣総理大臣を議長とするGX実行会議が始まった。

GX(グリーントランスフォーメーション)とは、「化石エネルギーからクリーンエネルギーへの転換を核として、長期にわたり経済・社会、産業構造全体の変革を目指し、GXとDX(デジタルトランスフォーメーション)の同時進行により、社会の持続的成長を図ること」である。

すなわち、GXはエネルギーを送る(供給)側の「カーボンニュートラル」とエネルギーを使う(需要)側の「電化」を図った上で、電化によって得られるデータ化された情報の利活用を通じて、DXも同時進行させる、抜本的な変革である。今後、わが国は、エネルギーインフラとデジタルインフラが融合して、新たな社会システムや価値を創出することにより、「持続可能性」から「持続的成長」へ移行していく必要がある。また、新しいシステムや新たな価値を活用して、国民生活や社会を豊かにしていかなければならない。

2. 国際社会の持続可能性

国際社会においては、他国を犠牲にして、自国の経済的安全を確保する動きが加速するなど、「持続可能性」を掲げつつ国家・産業の経済・社会的繁栄を追求する動きが主流化している。また、東西・南北対立の深刻化や先進国内の温度差の拡大など、多極化が進む中で、国際社会の「対立軸」も多様化・複雑化している。このような中においても、国際社会の持続性を実現するためには、

わが国が、日本らしさである「利他の精神」「人間と自然の共生」などの価値観を基に、グローバルサウス(新興国、途上国)の国々から頼られ、グローバルノースとの懸け橋となることを通じて、国際社会からの確固たる信頼の下、世界をリードしていく必要がある。

3. わが国の持続的成長に向けて

日本は、乏しい資源や災害が多い立地、少子高齢化の加速など、わが国特有のさまざまな課題に直面する中、これらを乗り越え、持続的成長につなげるためには、「GX with DX」によって社会変革をしていくことが肝要である。変革に向けた三つのポイントを下図に示す。とりわけ、①「経済成長との両立／新たな豊かさの享受」に向けては、イノベーションのいち早い社会実装・海外展開や、革新的技術の研究・実証に加え、国、産業界、アカデミアなど多様なステークホルダーの連携により、オールジャパンで国際規格・標準化に取り組む必要がある。

GX with DX による社会変革のポイント



① 経済成長との両立／新たな豊かさの享受

- イノベーションの「いち早い社会実装」と「海外展開」⇔ 国際規格・標準化、AZEC
 - ・ ビジネス化 (「社会課題解決の役に立つ」と社会が共感)
 - ・ 経済安全保障 (サプライチェーンの確保、国際的なバリューチェーンで不可欠な分野の維持拡大)
- 協創を通じた新たな価値・サービスの提供、サイバーとフィジカルの融合
 - ・ Value Provider データ・プラットフォーム (DX) とエネルギー・プラットフォーム (GX)
 - ・ 新たなサービス (価値) を提供する企業とそれを支える技術 (価値) を提供するモノ作り企業をセットで捉え、ユーザーに新しい価値を提供する主体の集合体とみて、その中で多様な価値を提供

② 分散・循環型のネットワーク化

- 資源消費国から循環資源立国へ
 - ・ 日本のワザ (技術・文化・社会制度) ⇒ ビジネス化 ⇒ 海外で稼ぐ
- 自立分散型システムの併用 分散型経済、循環型経済の併用
 - ・ 大量生産・大量消費から少量多品種生産・消費へ
- 安全・安定・安心のための社会態勢
 - ・ 「中央集権」「都市への集中」「密度の向上」⇒ 「地方への分散」「密度の低下」「防災・減災」

③ 生産性向上／多様性創出

- 無形資産投資 (人材投資、研究開発)
- 多様性の発揮、高齢者・女性の更なる就労、労働者の適材適所
 - ・ 労働生産性向上 ⇒ 雇用の流動性 ⇒ 多様性の創出
- 高付加価値化の追求 人材・技術を有し、伸び代の大いの中堅企業群

出典: 中部電力 勝野 提出資料 (第6回GX実行会議) を一部加工

[社会実装推進部 後藤]



委員会とは

中経連では、12の委員会を設置し、国内外の経済社会などに関する諸問題について調査研究・提言を行うなど、さまざまな活動に取り組むとともに、活動を通して会員相互の交流を図っています。会員登録者であれば、委員会に参加することができます。

第2回エネルギー・環境委員会

開催日 3月28日(金) **参加者** 委員長の勝野副会長をはじめ61名(講演会は102名が聴講)

勝野委員長の挨拶に続き、事務局より2024年度の活動実績について報告した。次に、2026年度から開始されるCO₂排出量取引制度を巡り、対応にあたっては、中小企業を含めたサプライチェーン全体で進めていく重要性を確認した上で、CO₂排出量算定に関する勉強会の実施に向けて、意見交換した。後半の講演会では、勝野委員長が、中部電力(株)代表取締役会長の視点から、「国際社会の持続可能性について(GX with DX)※」をテーマに講演した。

※本誌13ページ参照

[社会実装推進部 後藤]



勝野委員長

第1回企業防災委員会

開催日 4月21日(月)

参加者 委員長の大西副会長をはじめ40名[講演会は579名が参加(オンラインを含む)]



福和伸夫氏

第一部の講演会では、名古屋大学名誉教授で、あいち・なごや強靱化共創センター長の福和伸夫氏を講師に迎え、「過去に学び未来に備える南海トラフ地震対策～新たな被害想定と官民連携による本気の事前対策～※」をテーマに講演いただいた。

第二部の委員会では、事務局から2024年度活動実績を報告した上で、2025年度活動計画(案)を審議した。この他、防災・減災対策に関する国および自治体からの支援策や助成制度などの有効活用に向けて、参加者に呼びかけた。

※講演要旨は9・10月号に掲載予定

[産業基盤強化推進部 まつ か 松家]

国際委員会主催「グローバルセミナー」

開催日 5月26日(月) **参加者** 会員登録者をはじめとする70名(オンライン参加含む)

国際委員会は、「ヨーロッパ市場への入り口としての中央ヨーロッパの魅力 ～ハンガリー、ポーランドへの進出に関する基礎知識を中心に～」をテーマにグローバルセミナーを開催した。講師には、元駐日ハンガリー大使のシュディ・ゾルタン氏を迎え、ハンガリーやポーランドなどの中央・東ヨーロッパ諸国の概要やEUにおける政治的な位置づけ、日本企業のビジネスチャンスについて講演いただいた。

[国際部 岡戸]



シュディ・ゾルタン氏



【ダイジェストとは】

中経連の中期活動指針「ACTION2030」で3本柱として掲げる「産業の進化と多様化への貢献」「人材・働き方の高度化への貢献」「魅力と活力ある地域社会の形成への貢献」に基づいた、さまざまな活動や行事などを紹介します。

4月
16日
(水)

「リーダーになるために必要なマネジメント」セミナー&ワークショップ

中経連は在日フランス商工会議所と「リーダーになるために必要なマネジメント」をテーマにセミナーおよびワークショップを開催した。セミナーでは、

- ・エールフランス-KLMグループのカーゴ部門で日本・韓国地区責任者を務めるベアトリス・デルプエッシュ氏が「36年の経験から見えるチームのマネジメント」をテーマに、
- ・マッキンゼー・アンド・カンパニー出身でプレゼンテーションやファシリテーションのプロフェッショナルコーチである岩田ヘレン氏が「信頼関係を築く秘訣」をテーマに、

それぞれの経験に基づいたリーダーシップやマネジメントのあり方などを説明した。

〔国際部 岡戸〕



イタリア・リグーリア州※訪日視察団との懇談

4月
24日
(木)



イタリア・リグーリア州の商工会議所であるリグーリアインターナショナルの訪日視察団(代表:アレックス・ピットルーガ氏)が中経連を訪れ、増田専務理事以下幹部と懇談した。

※イタリア北西部に位置し西にフランスと接する海と山に囲まれた国際的な観光地。近年では、ロボット工学やライフサイエンスなどの分野でイノベーションが進んでいる。

〔国際部 岡戸〕

4月
24日
(木)

中部運輸局との意見交換会

中経連は、中部圏における広域観光の振興に向けた課題を共有し、その解決を目的に、国土交通省中部運輸局との意見交換会を名古屋市内で開催した。中部運輸局からは中村局長をはじめ7名、中経連からは、安藤副会長のほか、旅行や交通、宿泊などの観光業に関わる会員企業と(一社)中央日本総合観光機構から12名(10社・1団体)および中経連幹部5名が参加した。

〔企画部 松村〕



5月
12日
(月)

東三河産品の魅力発信イベント

中経連は、東三河産品の魅力を発信するイベント「Farm to Table from Higashi Mikawaー世界に羽ばたく東三河の農と食ー」(協賛:(株)サーラコーポレーションならびに豊橋商工会議所、(一社)ほの国東三河観光ビューロー)を開催し、神野副会長をはじめ国内の観光業界や百貨店、商社、7か国の駐日外国公館や海外政府機関などの関係者96名が参加した。出展事業者と参加者による交流は、産品の販路拡大や知名度向上のほか、新たな気づきや事業展開のヒントを得る機会になった。



[企画部 小淵]

5月
16日
(金)

愛知県立大学特別講義



中経連は、「キャリア教育共創プログラム※」の一環として、愛知県立大学の2年生14名を対象に、教養連携科目「ものづくりの現状と課題」(全14回)と題した第4回目の講義を行った。講師を務めた企画部の中野は、「愛知の産業の全体像」をテーマに、当地域における産業の歴史や成り立ち、製造業を取り巻く課題などを解説した上で、就職活動を控える学生に対して、企業が求める人材像などを紹介した。

本科目はプロジェクト型の実践教育科目として、今後、課題解決に必要な基礎知識を学んだ後に、チームごとにテーマを設定し、企業が抱える課題の解決に向けたフィールドワークを行った上で、最終回には成果発表を行う予定である。

※産学共創によるキャリア教育の実践策として、会員企業から会員大学へ講師を派遣するプログラム。

[企画部 中野]

5月
19日
(月)

5月度定例記者会見

中経連は総合政策会議終了後、水野会長による最後の定例記者会見を行った。水野会長は冒頭で、米国の関税政策による当地経済や賃上げへの影響について懸念を示したほか、6月に就任を控える中経連の新たな理事候補者を公表した。

また、水野会長は、在任5年間の歩みを振り返り、成果を述べた上で、新体制への期待と報道機関への感謝の言葉で会見を締めくくった。



[総務・会員サービス部 横山]

5月
22日
(木)

中華民国工商協進会との懇談



台湾全域で活動を展開する経済団体「中華民国工商協進会」の呉東亮^{ごとうりょう}理事長を団長とする訪日視察団が中経連を訪れ、水野会長、勝野副会長以下幹部と懇談した。

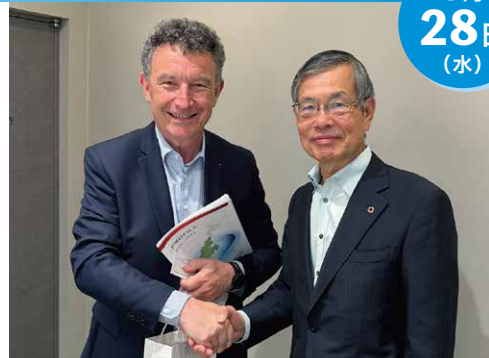
[国際部 岡戸]

フランス・グランテスト地域圏※との懇談

フランス・グランテスト地域圏の議長フランク・ルロワ氏を団長とする訪日視察団がナゴヤ イノベーターズ ガレージを訪れ、水野会長以下幹部と懇談した。

※フランスにおける最も大きな地方行政区画で、同地域圏はフランスの北東部に位置する。自動車や金属加工、機械工学、化学分野における欧州屈指の産業集積を誇るなど、当地と多くの共通点を有している。

[国際部 岡戸]



5月
28日
(水)



フランス・グランテスト地域圏 オープンイノベーションセミナー

中経連は、フランスのグランテスト地域圏とセミナーを開催し、愛知県や名古屋市、国内のエネルギー関連企業など約30名が参加した。セミナーでは、同地域圏のイノベーションに向けた取り組みのほか、同地域圏で発見されたホワイト水素(天然水素)の活用に向けたプロジェクトなどが紹介された。

[国際部 岡戸]

在名古屋米国領事館首席領事との懇談

在名古屋米国領事館のアンナ・ワン首席領事が中経連を訪れ、水野会長以下幹部と懇談した。

水野会長は、「私は今年6月の定時総会で会長を退任するが、新体制移行後も変わらぬご厚誼をお願いしたい」と強調した。これに対してワン首席領事は、「私は名古屋に赴任してまだ1年にも満たないが、米国領事館は水野会長率いる中経連にさまざまな形でお世話になった。中部圏と米国双方の経済発展に向けて、引き続き中経連との親交を深めたい」と応じた。

[国際部 岡戸]



6月
18日
(水)

勝野新会長就任記者会見

中経連は第14回定時総会終了後、勝野新会長の就任記者会見を行った。

勝野新会長は新たな船出に際し、「会員の皆様をパワーの源に、中部圏の『声と力をつなぎ、成し遂げる中経連』として、挑戦を続けていく」と抱負を述べた。

また、記者会見に先立ち、水野前会長が新体制に向けて力強いエールを送るとともに、勝野新会長にバトンを託した。

[総務・会員サービス部 横山]



CO₂ 排出量算定などの運用に関する調査結果

中経連は、2026年度から本格的に始まる「排出量取引制度」を前に、「CO₂排出量の算定・削減に対する取り組み状況」について、104の会員企業・団体にご協力をいただき、アンケート調査を実施した。今後、調査結果を踏まえ、各企業による脱炭素に向けた取り組みの推進につながる活動を実施していく。

1 調査の経緯

2050年のカーボンニュートラル実現に向け、2026年度からは排出量取引制度の運用が本格的に始まる中で、サプライチェーン全体で活動を推進する第一歩として、各企業の事業活動に係るCO₂排出量の現況把握を実施した。

【調査の概要】 ◎調査期間:2024年12月～2025年1月
◎対象:会員704社・80団体 ◎回答:90社、14団体(学校、商工会議所など)

2 調査の結果

企業(90社)からの回答に焦点を当てると、算定している企業の割合には規模や業種に偏りがある結果となった。企業規模別では、大企業の90%(55社)が「算定している」と回答した。一方、中堅・中小企業の28%(8社)が「算定していない」と回答し、大企業で算定している割合が高い結果となった。実施理由としては、「法規制への対応」や「自社目標に基づく環境への貢献に取り組む企業姿勢を世間に示す」といった回答が得られた。また、算定していると回答した企業に着目すると、大企業の多くはScope^{*}3まで算定しているが、中堅・中小企業は、ほとんどの業種がScope2までの算定に留まっている結果となった。

※Scope:企業が温室効果ガス(GHG)排出量を管理するための1～3までの区分。

・Scope1:事業の現場から直接排出されるGHG。

・Scope2:自社が購入した、他社から共有された電気・熱などのエネルギーの使用に伴い間接的に排出されるGHG。

・Scope3:輸送や廃棄など、自社の事業活動に関わっている他社の排出したGHG(Scope1、2以外)。

算定の範囲に関する回答結果

企業・業種 [*]		件数	算定していない	Scope1のみ	Scope2まで	Scope3まで
大企業 製造業	製造業	26	1 (4%)	0 (0%)	5 (19%)	20 (77%)
	建設業	12	1 (8%)	2 (17%)	3 (25%)	6 (50%)
	物流業	4	0 (0%)	0 (0%)	2 (50%)	2 (50%)
	電気・ガス業	4	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	4 (100%)
大企業 非製造業	商社・サービス業	9	2 (22%)	1 (11%)	2 (22%)	4 (44%)
	金融・保険業	5	1 (20%)	1 (20%)	2 (40%)	1 (20%)
	メンテナンス業	1	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
大企業計(件)		61	6 (10%)	4 (7%)	14 (23%)	37 (61%)
中堅・中小 製造業	製造業	10	1 (10%)	1 (10%)	8 (80%)	0 (0%)
	建設業	3	1 (33%)	1 (33%)	1 (33%)	0 (0%)
	物流業	2	1 (50%)	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)
	電気・ガス業	1	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)
中堅・中小 非製造業	商社・サービス業	7	3 (43%)	1 (14%)	3 (43%)	0 (0%)
	金融・保険業	4	1 (25%)	0 (0%)	2 (50%)	1 (25%)
	メンテナンス業	2	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)
中堅・中小企業計(件)		29	8 (28%)	4 (14%)	15 (52%)	2 (7%)
合計(件)		90	14 (16%)	8 (9%)	29 (32%)	39 (43%)

※中小企業基準法に則り、業種毎に基準に該当する企業を中小企業、該当しない企業を大企業に分類 ※四捨五入の関係で、合計値が100%にならない場合がある。

3 想定される課題

「各企業が抱える算定・削減に対する意見」に対して、算定していない企業からは、「CO₂排出量が少ないため、無関係」「専任部署がない」などの回答があったが、実際の課題は「CO₂排出量の算定・削減の必要性が認識されていない」と推察される。また、Scope3までの算定範囲の拡大およびCO₂排出量の削減に向けた活動を継続するためには、「Scope3の算定精度が低い」「新たな削減策がない」という課題も推察できる。

算定・削減に対する各企業の意見

(凡例：●算定に対するご意見、○削減に対するご意見)

項目	ご意見
算定していない	●サービス業のためCO₂を排出することはほとんどない。(商社・サービス業 他6社) ●来年度算定予定だが、排出量算定に関する知識が備わっていない。(製造業)
大企業 Scope2まで算出	●Scope3算定の必要性について、社内の理解に温度差がある。(商社・サービス業 他3社) ○環境に精通した施策を推進できる人材育成は課題に感じる。(メンテナンス業 他1社) ○CO₂フリー電気や証書の購入、環境価値の購入によりオフセットするしかない中、毎年価格が上昇しているため、原資が必要。今後は経営へのインパクトが無視できない状況になる。(製造業)
中堅・中小企業 Scope2まで算出	●自社で対応しているが、確からしさや外部からの要求に対応しきれていない。(製造業) ●Scope3まで求めるためには、専任の部署、人材が必要であるが、現状では対応が難しい。(建設業 他3社)
大企業 Scope3まで算出	●Scope1,2の集計およびScope3の算定に要する工数が多大であり、対応が困難となる。(商社・サービス業 他2社) ●Scope3の「範囲」の定め方に苦慮している。(製造業 他1社) ○削減対策はかなり前から取り組んできた。そのため、次に取り組む削減対策が見つけにくくなっている。また、削減の取り組みに伴うコスト増加分を誰が負担するのかという課題もある。(製造業 他9社)

4 2025年度以降の取り組み

中経連は、今回の調査で浮き彫りとなった課題を踏まえ、各企業におけるCO₂排出量の算定・削減に向けた取り組みのさらなる推進につなげてもらうために、「排出量算定・削減の必要性や意義の訴求」「算定方法の習得」「各企業におけるCO₂排出量削減に資する好事例の紹介」などを幅広く横展開していく。

お問い合わせ先:社会実装推進部

最近の要望活動

5月15日(木)「強靱かつ持続可能」な上下水道事業の実現に向けた要望

水野会長と中経連の社会基盤委員長を務める柘植副会長は、国土交通省中野大臣、坂井内閣府特命担当大臣(防災・海洋政策)、自由民主党の森山幹事長ならびに鈴木総務会長、公明党の西田幹事長を相次いで訪問し、2025年3月に公表した緊急提言「『強靱かつ持続可能』な上下水道事業に向けて～能登半島地震と八潮市道路陥没事故を受けて～」を手渡した上で、国による支援を要望した。柘植副会長は、

①「上下水道の維持・更新と耐震化の加速化」や②「財源の確保(例:国の財源の大幅な拡大、利用者負担の増加、新たな安定財源として目的税の検討)」など、上下水道事業が直面する問題点を提起した上で、今後のあり方について訴えた。



自由民主党の森山幹事長との面談

5月28日(水)中部国際空港第二滑走路建設促進期成同盟会による要請活動

中部国際空港第二滑走路建設促進期成同盟会(会長:大村愛知県知事)は、国土交通省古川^{にしめ}副大臣、公明党の西田幹事長、自由民主党の西銘幹事長代理らと面談し、中部国際空港第二滑走路の整備をはじめとする機能強化の早期実現への支援を要請した。中経連からは本同盟会幹事の増田専務理事が出席し、代替滑走路の整備による「完全24時間運用」の実現により、旅客便・貨物便がこれまで以上に細やかに対応できる体制が構築されることを強調した上で、2027年度中の供用開始に向けた滑走路整備への着実な支援を訴えた。



[企画部 水田]

※肩書きは訪問時のもの。

お 祝 い

春の叙勲・褒章において、以下の中経連会員が受章されました。

栄えあるご受章をお祝い申し上げますとともに、
今後とも一層ご活躍されますことを祈念いたします。

(敬称略)

旭日小綬章

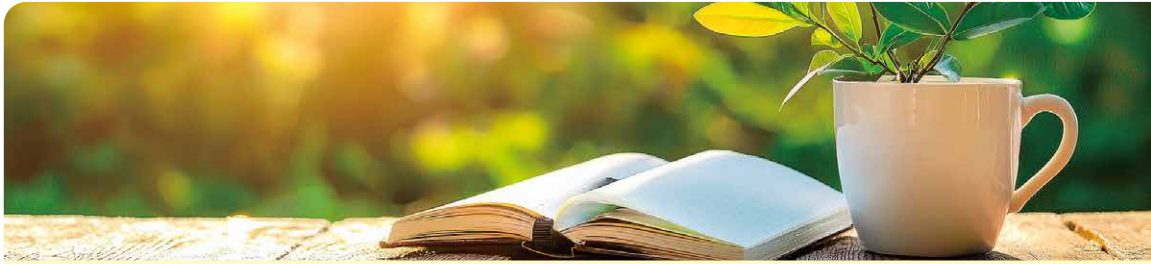
くつ な
沓名

とし ひろ
俊裕

安城商工会議所

会頭(株式会社東祥 取締役会長)

「コーヒブレイク」は、会員の皆さまの趣味や日課などの「オフ」を中心に、寄稿者さまと読者の皆さまがコーヒーを飲みながら雑談しているような、「ホッ」と一息つけるコラムを目指しています。



Coffee break

コーヒブレイク

中経連会員コラム

9

〈年記〉

ある時、友人から日記ならぬ「年記」を書くことをすすめられた。年記は生き方を見直すのに有用だという。

日記と年記。日記は毎日認める^{した}ことが基本ゆえ、継続に根気が要る。また、感情が紙面を覆うこともあり、時間を置いて読み返すと面映ゆいこともある。その点、年記は事実の記述が多く、淡々としていて、のちの扱いもよい。

手元にあった22歳からの手帳を頼りに、わが年記を一気に綴ったのは今から5年前。長い間、小さな手帳に積み込まれていた時間が想い出を伴って立ち現われ、年記帳に収まった。以来、お正月休みに年記をつけることにしている。

二十代、三十代……と年代ごとに、あるいは一つの転機から10年間など、時間をくくって眺めてみると、人との縁や日々の気づきをはじめ、一見、回り道と考えることが今の自分につながっていることがわかり、なかなか味わい深い。

年記など意識したことがないという方、一度お試しください。ではどうだろう。

株式会社光機械製作所
代表取締役社長

西岡 慶子

Nishioka Keiko

次号は株式会社電算システムホールディングスの代表取締役社長 小林領司様の予定です。

「中部圏デジタルのすすめ」をご活用ください

中経連が運営する、中部圏各地でデジタルを学習できる“場”を一元的に集約し発信するWEBサイト「中部圏デジタルのすすめ」では、講座の**検索機能追加**や**視認性の改善**など、利便性向上を図る**全面的なリニューアル**を実施しました。ご自身のリスキングと組織のデジタル化・DX推進に向けてぜひご活用ください。

中部圏デジタルのすすめ

<https://central-japan.info/digital>



2025年9月25日(木)～28日(日)の4日間、Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)で「ツーリズムEXPOジャパン2025愛知・中部北陸」が開催される。「ツーリズムEXPOジャパン(TEJ)」は、地域経済の活性化や雇用創出の効果などが期待される「観光／ツーリズム」産業のさらなる活性化に向けて、2014年に誕生した観光産業展示会(見本市)である。「今年はどこに旅しよう?」と悩んでいる方、世界の文化や観光地に触れてみたい方、観光業に関わる方など、世界中の観光素材が大集結する“旅の祭典”に足を運んでみてはいかがでしょうか。

中部・北陸が
協力して
初開催!!



開催概要

- ◆会 期: 2025年9月25日(木)～28日(日)
 - 観光業界・プレス向け: 9/25(木)・26(金)
 - 一般向け: 9/27(土)・28(日)
- ◆会 場: Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)
[愛知県常滑市セントレア5丁目10-1]
- ◆テーマ: 旅は“知”の再発見
- ◆主 催: (公社)日本観光振興協会、
(一社)日本旅行業協会、日本政府観光局

TEJは、前半の2日間を観光業界やプレス向けに、後半2日間を一般の方向けに開催します。前半は、国内外の観光事業者をつなぐ展示商談会を中心に行われるほか、後半は一般の方に向けて、国内外の旅行に関する最新情報などが提供される。来場者数の目標は10万人としており、商談件数は5,500件以上を見込まれています。



旅の魅力が大集結! 中部9県の共同ブースが初出展!

世界から80の国と地域、日本から47都道府県が出展し、すぐにでも旅に出たいような旅の魅力や最新情報を得ることができます。

今回の目玉は、初出展となる中部・北陸9県(愛知、岐阜、三重、長野、静岡、滋賀、福井、石川、富山)による共同ブースである。ブースでは、「GO CENTRAL JAPAN～9県の感動旅を～」をテーマに、中部・北陸

が有する歴史や文化、自然、伝統工芸などの魅力を発信することで、来場者に当地域の「観光の宝物」や旅の楽しさを再発見していただけます。



TEJ2024の様子



テーマ別の特集エリア&特別コーナーを展示。海外グルメも堪能できる!

特集エリア&特別コーナーでは、「ドライブ」「星空」「アドベンチャー」「クルーズ」「スポーツ」「アカデミー」など、テーマに沿った特設ブースが設置されます。旅行会社や自治体、学校の関係者などにおけるマッチングを促すとともに、学生に向けて観光業への関心を高めてもらうきっかけづくりの場も提供されます。また、飲食エリアでは、「食で観光促進」をテーマに、世界の

珍しい料理や国内のご当地グルメなどを楽しむことができます。多様な食文化を堪能しながら会場を巡れば、“世界旅行ができたような気分”を味わえます。

この機会に、友人や家族を誘い合わせの上、国内外の多様な文化や観光が持つ魅力などを、是非体感してみてください。



TEJ2024「特別コーナー」の様子



TEJ2024「飲食エリア」の様子。国内外の多様なグルメが並ぶ



文:企画部 水田

旅の未来を創造する世界最大級の“旅の祭典”



ツーリズムEXPOジャパン 2025 愛知・中部北陸

開催日程

2025年9月25日（木）～28日（日）

開催場所

Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）

※ 業界・プレス: 9月25日（木）・26日（金）／一般: 9月27日（土）・28日（日）

中部・北陸が
協力して
初開催！！



世界の**80**の国・地域から、日本の**47**都道府県から
旅の魅力が大集合！

海外・国内**旅行の気分**を！すぐにも旅に出たくなる**最新の旅情報**を！
わくわくする無限の体験を楽しもう！！

※数値はツーリズムEXPOジャパン2024実績



こんな人にぴったり！【来場ターゲット】

今年はどこに旅しよう？と悩んでいる皆さま
海外、国内の文化、観光地に触れてみたい皆さま
観光業に関わる業界人の皆さま

必見！

一般入場日（2日間）

9月27日（土）

9月28日（日） 10:00～17:00

詳しくは➡



ツーリズムEXPOジャパン

検索

真永工業株式会社

真永工業は、2001年の創業以来「世の役に立つかけがえない存在」を目指し、技術と情熱をもって設備製作や機械設計、ロボット制御などの幅広い分野で挑戦を続けてまいりました。当社の強みは、構想段階から最終据付けまで一貫対応できる体制と、自社内の設計部門を活用した迅速かつ柔軟な対応力にあります。技術営業、設計、製造が一丸となり、お客様一人ひとりのニーズを超える提案を実現してまいりました。現在、大手自動車メーカーや薬品メーカーをはじめ、多くの業種から厚い

信頼を寄せていただいております。私たちは「**幸せの量産に寄与する**」というスローガンの基、技術革新を追求し、人と技術が調和する未来を創造します。さらに、社員が情熱を持って、挑戦を楽しむ風土を育み、社会に必要とされるサービスを提供してまいります。



メッセージ

代表取締役

久松 貴裕

ひさまつ たかひろ

弊社は、「**生命の意識向上と人類の技術進化に寄与する**」を経営理念として掲げています。自動車製造や薬品製造量産事業を通じて顧客の「**幸せの量産に寄与する**」というスローガンの基、2030年に設備業界を牽引する全自動化ファクトリーオートメーション(FA)メーカーを目指しています。

私がこの経営理念を強く実現したいと決心したきっかけは2021年、徳洲会病院の徳田虎雄会長との出会いにあります。会長はALS(筋萎縮性側索

硬化症)という病に伏しながらも文字盤を眼球で追い、「**世界にもっと病院を作れ**」と伝える高い熱量に感動しました。

そして私は、日本が直面する閉塞感や混迷する世界情勢のほか、自動車業界が大変革期を迎える中で、事業を通じて沢山の人を幸せにできる人財を育成することこそが真の愛であり、私の人生の使命だという決意に至りました。

今般、ご縁をいただく中で、中経連が掲げる「**中部圏の発展を持続的に支える**」というビジョンに深く共感しました。共に日本の未来を創造し、日本のものづくりを再び世界に誇れるものとするため、尽力してまいります。

創業・設立 2001年4月

事業内容 生産設備の仕様企画・構想設計・製作・設置・保全

登録所在地 〒464-0062 名古屋市千種区向陽町一丁目3-2 ロイヤルアーク覚王山6A号

本社所在地 〒475-0828 半田市瑞穂町四丁目8-21

TEL 0569(23)4649



日鉄興和不動産株式会社

当社は、「人と向き合い、街をつくる。」というミッションの下、お客様から“選ばれ続けるデベロッパー”を目指しております。

不動産賃貸事業では、東京を中心とした、大規模都市開発である「インターシティ」シリーズをはじめとするオフィスビルや「ホームATT」シリーズなどの外国人向け高級賃貸マンションを開発・賃貸しているほか、分譲マンション「リビオ」シリーズに代表されるマンション分譲事業や市街地再開発事業などを展開しております。

また、当社は、みずほフィナンシャルグループおよび日本製鉄グループと密接な協力関係にあります。みずほフィナンシャルグループが有する金融技術を取り入れた不動産ソリューションサービスに関する提案

力のほか、日本製鉄グループが大規模遊休地開発で培った地域創生の経験とノウハウなどを当社独自の強みとして、お客様からのさまざまな不動産ニーズにお応えしております。

現在、中部圏では「名古屋インターシティ」を代表とするオフィスビルの賃貸事業をはじめ、「ロジフロント」ブランドによる物流施設や宅地分譲などの開発事業を展開しております。



名古屋インターシティ



メッセージ

都市事業本部
名古屋ビル事業部長
齋藤 幸一
さいとう こういち

この度、中経連に入会させていただき、大変光栄に存じます。私が所属する都市事業本部名古屋ビル事業部は、名古屋のオフィス街・伏見エリアの旧日本興業銀行名古屋支店跡地に建てられた「名古屋インターシティ」を拠点に、伏見・名駅エリアでのビル事業を営んでおります。

プライベートでは、週末に職場近くの老舗居酒屋のラジオから流れるナイター中継を聴きながらの一杯と、スポーツジムでの運動後、サウナでのもう一汗が今の私の至福のひとつとなっています。

中経連にて皆様とともに、地域の経済活動をさらに活性化させるための取り組みに参加できることを楽しみにしております。また、多様なネットワーキングの機会や情報交換の場を通じて、当社の成長と発展を図りたいと考えております。何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

設立 1997年3月

事業内容 オフィスビルの開発・賃貸・管理、マンション・戸建住宅の開発・分譲・賃貸、物流施設・商業施設などの開発・賃貸・管理ほか

登録所在地 〒460-0003 名古屋市中区錦一丁目11-11 名古屋インターシティ2階

本社所在地 〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目8-1 赤坂インターシティ20階

TEL 052(201)5843



富士ソフト株式会社

富士ソフト(株)は、独立系ITソリューションベンダーです。「組込／制御ソフトウェア開発」「業務系システム開発」「プロダクト・サービス」の3つを柱とし、通信インフラや社会インフラの発展に貢献しています。組込ソフトウェア開発においては、自動車・ロボット・医療機器などの分野で高度な技術を提供し、製品の安全性・信頼性の向上に寄与しています。AIやIoTとの連携を強化し、次世代のものづくりを支える技術



開発にも積極的に取り組み、お客様のDXの実現に貢献しています。富士ソフトは高度な技術力と提案力で、常にお客様に付加価値を提供し、信頼を勝ち得る存在を目指しています。



メッセージ

執行役員
ASI事業本部 本部長
五十君 隼一
いそぎみ じゅんいち

富士ソフトは幅広い分野でソフトウェアのソリューションを提供しており、中部圏においては主に自動車やロボットといった、ものづくりに関連する事業の比率が高くなっています。

労働者不足や自動車業界の目まぐるしい環境変化に対応することは、日本社会が直面する重要な

課題であるため、中経連の活動を通じて、これまで以上にこうした課題に貢献することを目指し、取り組んでまいります。

特に自動車業界は「100年に一度の大変革期」と言われてから数年が経過しましたが、富士ソフトはSDV(ソフトウェア・デファインド・ビークル)の実現や自動運転の社会実装・普及、名古屋大学との共同研究によるインフラ協調やデータ利活用の検討など、次世代モビリティ事業に向けた投資を進めています。

今後もさまざまな事業会社の方と連携させていただき、地域活性化に貢献していく所存です。

設立 1970年5月

会員登録者 エリア事業本部 中部支社 支社長 日高 章雄

事業内容 通信インフラ、社会インフラ、機械制御などの組み込み系ソフトウェア開発のほか、業務系ソフトウェア開発やネットビジネスソリューション

登録所在地 〒450-0002 名古屋市名東区名駅四丁目21-10

本社所在地 〒231-8008 横浜市中区桜木町1-1

TEL 050(3000)2103





GARAGE Interview

ナゴヤ イノベーターズ ガレージ(以下、NIG)のスタッフが、イノベーション創出に向けて提供しているプログラムや運営の裏側、NIG利用者の声などをご案内します。今回は、NIG発の新規事業コミュニティ「Fight Club」を紹介します。

NIGから生まれた本気の挑戦、新規事業コミュニティ「Fight Club」

「Fight Club」は、大企業の新規事業担当者による“新規事業創造に本気で挑む人材”が集い、実際に成果を上げつつあるイントレプレナー(企業の中で新規事業を立ち上げる人材)の支援を受けながら、新たな挑戦に向けて共に前進する場として、2025年度に結成されました。団長は、大豊工業(株)篠原BASE 新事業開発室長の堀越直氏。堀越氏は、企業の新規事業創出に向けて、2024年度にNIGで開始した伴走型支援プログラム「Innovators Dojo」の卒業生です。

◆ Fight Club 立ち上げの背景

「新規事業って、正解がないし、本当に大変」。多くの企業が抱えるこの課題に対して、社外に学びの場と仲間を求めようという思いからFight Clubは誕生しました。既存事業を前提とした思考や行動が根付く中で、挑戦者同士が企業の垣根を越えて協力し合い、知見と実績を積み重ねていくことを目的としています。



大豊工業株式会社
篠原BASE 新事業開発
室長 堀越 直 氏

◆ ポリシー

メンバー一人ひとりが、自分・会社・社会それぞれのWill(意志)や利他の精神を明確に持ち、会社内で評価されるための活動ではなく、市場で通用する価値を育むことを大切にしています。また、仲間と共にCSV(Creating Shared Value/社会共通価値)を築いていくことを目指しています。

◆ 主な活動と仕組み

実践的な学びと実行の場と位置づける「College(学びとワーク)」のほか、アイデアの壁を打ち合う「壁打ち会」などを展開していく予定です。これらの取り組みによって、イントレプレナーに必要なスキルセットやマインドセットの強化を図り、参加者それぞれが次のチャレンジへと進めるよう支援していきます。

◆ 今後の展望

2025年4月にFight Clubのキックオフ交流会が開催され、発足時から熱量の高い大企業新規事業担当を中心としたメンバー120名が集い、第一歩が踏み出されました。この取り組みが、これから新しい事業に挑もうとする方々にとって、共感と行動のきっかけとなることを期待しています。

Fight Clubは単なる交流の場ではなく、“本気で事業を生み出す”ためのコミュニティとなることを目指しています。今後は、年に数回の壁打ち会やCollege、セミナーの企画運営などを通じて、知の流通と挑戦する機会を拡大させていく予定です。企業の枠を超えた仲間たちとの学びと挑戦を通じて、企業同士がお互いに学び合い、自律的に新規事業が生まれるコミュニティになっていくことを期待しています。

今後も、NIGのプログラムを通して、企業を越えた共創の基盤が築かれ、参加企業にとっても大きな成長の機会となることが期待される。



「Fight Club」結成を記念して開催した、東海の“未来を造る”交流会「Future Session」特別回の様子。

Report
1

2025.1.20 Mon. ~ 3.17 Mon.

深層心理のニーズを引き出すデザイン思考
～デザイン思考で未来を切り開く～

NIGは、企業内でイノベーションを推進する人材の育成を目的に、デザイン思考を体験するワークショップを開催し、社会人ならびに学生32名が参加した。全6日間のプログラムでは、チームで設定したテーマについて仮説検証を繰り返しながら、独自のアイデアを作り上げた。その後、生み出したアイデアの価値を検証し、プロトタイプ※を設計するなど、顧客体験デザインを実践した。最終日には、各チームが新規事業の計画を発表し、意見交換を行った。

終了後のアンケートでは、本プログラムに「満足した」との回答が97%に達するなど、新しい視点を獲得し、今後の事業創出に意欲を示す参加者が多く見られた。

※製品やサービスの開発初期段階で作成する簡易的な試作品



ワークショップの参加者



講師を務めた(株)Hyla代表取締役 石井辰典氏

Report
2

2025.3.29 Sat. • 30 Sun.

2024年度キッズ&ジュニアプログラム
「KID'S TECH2025 SPRING」

NIGは、小学生を対象にデジタルやものづくりの技術を体験できるイベント「KID'S TECH2025 SPRING」をナディアパーク(名古屋市中区栄)で開催し、2日間で544名が訪れた。各フロア会場では、さまざまな分野で活躍する社会人や大学生による展示のほか、ワークショップが実施された。参加者は、金属の表面に微細な加工を施すことで分光機能を持たせた七色の光による作品展示をはじめ、「空飛ぶクルマ」への乗車を仮想体験できるVRやAIアート、平面パーツを立体的に組み合わせて無限に作品を創造するおもちゃなど、さまざまなテック技術を体験した。



GARAGE Schedule 2025年7月～8月プログラム・イベント予定

NIGでは、共創を通じて新規事業の創出や既存事業の変革が持続的に起こる仕組み「中部圏イノベーションエコシステム」を循環させるため、さまざまなプログラムやイベントを開催しています。

プログラム
イベント詳細


7月16日(水)・8月26日(火) Innovators Academia

社内起業家やアントレプレナーの創出・育成を目指し、最新の企業トレンドやプロセス、ツールを学ぶプログラム。

◆7月16日(水) オープンイノベーションの新潮流 ～ベンチャークライアントモデルの可能性～

(株)ゼロワンブースター石田雄彦^{たけ ひこ}氏を招き、オープンイノベーションに関する最新動向や実践的なアプローチなどを学びます。ベンチャークライアントモデルとは、事業会社がスタートアップの顧客となり、製品やサービスの購入を通じて、共にイノベーションを実現する協業の形態です。本講演は、今後開催を予定する新規事業創出に向けたプログラム「Innovators Dojo」への理解にもつながるため、ぜひご参加ください。

◆8月26日(火) 社内起業のリアル～大企業発のイノベーションを成功に導くには～

(株)ゼロワンブースター川岸亮造^{りょう そう}氏と大庭翔平氏を招き、社内起業に関する最新の实態や手法などを学びます。社内起業とは、従業員が自社内で新しいビジネスを立ち上げ、既存のリソースを活用しながらイノベーションを創出する方法です。企業はリスクを抑えつつ成長の機会を広げ、従業員のやる気やスキル向上につなげることができます。

7月24日(木)・8月21日(木) Innovators College「WILL発掘ワークショップ」

新規事業・起業を推進する際に必要となるイノベティブなモノゴトの考え方や、発想を学ぶワークショップ。(株)ローンディール WILL-ACTION Lab.所長の大川陽介氏が、参加者の「WILL(やりたいこと)」を言語化するとともに、「100ACTIONリスト」を活用した、コラボレーションによるアイデアの創出を支援します。モヤモヤを解消してワクワク動き出したい方、人を巻き込む魅力的なWILLを言語化したい方をお待ちしています。

◆7月24日(木) WILL-ACTIONのコツ(自分とつながる)
◆8月21日(木) マイプロジェクトを創ろう(社会とつながる)
8月2日(土)・3日(日)
**2025年度キッズ&ジュニアプログラム
「KID'S TECH2025 SUMMER」**

小・中学生を対象に、学校教育では不足しがちな「体験」を通して、楽しく創造性を磨くことができるプログラム。展示やゲームなどを通じて、デジタルやものづくりの技術を体験できます。

※2024年度の様子を本誌28ページに掲載。



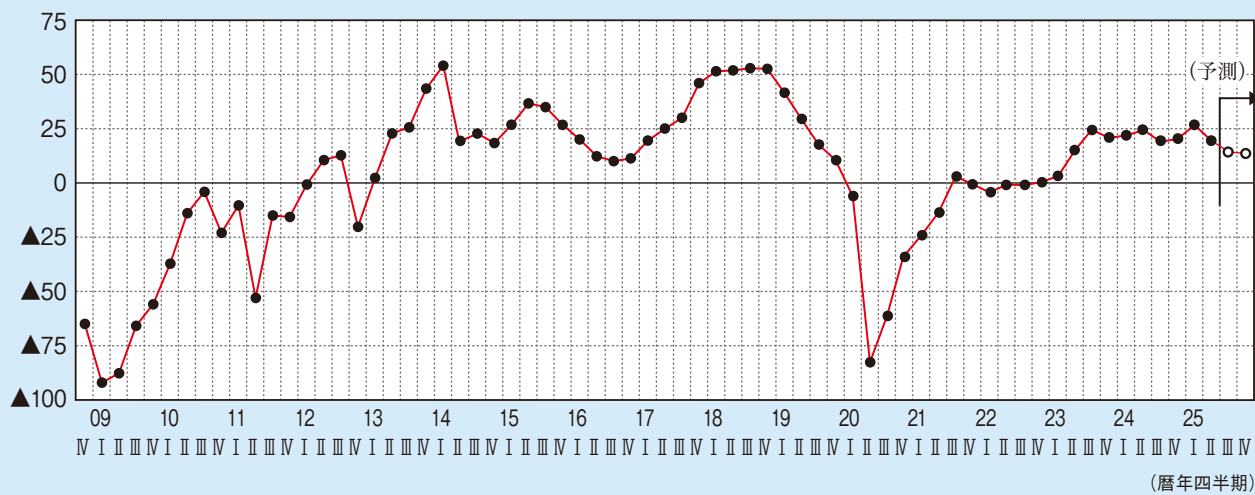
Innovators Academia(2025/4/18)の様子。



中部圏の景況判断

〔調査の概要〕 ◎調査時期：2025年4月24日～5月27日
◎対 象：法人会員689社
◎回 答：197社（回答率28.6%）

〔現況判断・見通し：「良い」－「悪い」〕



【今回のポイント】

<注目点>

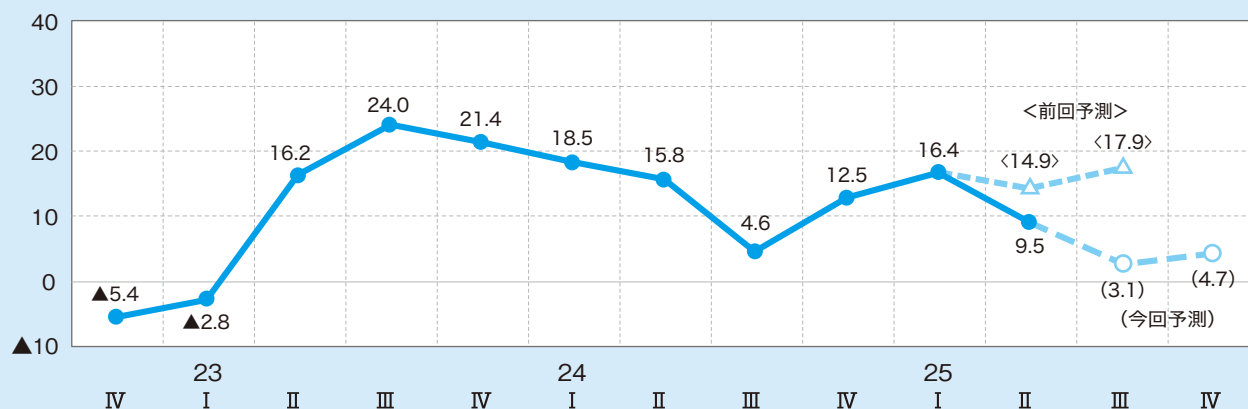
- ①景況判断は産業総計では3期ぶりに悪化し、前回予測の26.3を大きく下回った。業種別でみると、製造業は1～3期の16.4から4～6月期は9.5と悪化し、前回予測の14.9を下回っており、米国トランプ政権による追加関税の影響が顕在化し始めているものとみられる。非製造業も、1～3月期の34.3から4～6月期は19.2に低下しているが、製造業と比べると景況感の高い水準にある。
- ②経営上の課題について、人手不足・技能者不足への対応策としては産業総計で「採用(中途を含む、国籍問わず)」が約8割と最も多い。とりわけ非製造業は「今年度の賃上げ」や「業務の効率化・平準化」「教育・能力開発の強化」といった回答が他の業種に比べ多い結果となった。
- ③トランプ大統領の関税政策の業績への影響については、「マイナス」が産業総計で5割超と最も多い。前回調査では、「わからない」の回答が多数であったが、足元では実害が顕在化し始めているものとうかがえる。特に製造業では、「マイナス」との回答が71%と非製造業・建設業と比較多い。
- ④2025年春闘の妥結状況については、産業総計で「賃上げあり(ベースアップを含む)」との回答が8割超と最も多い。賃上げ率については、産業総計の加重平均で4.64%であり、うちベースアップ分の賃上げ率については3.37%となった。

<概要>

- 4～6期の中部圏の景況判断(「良い」－「悪い」社数構成比)は、+16.6(前期比▲10.7)となり、悪化した。
- 景況判断の先行きについては、製造業・非製造業ともに悪化したのち低い水準で推移する見込み。
- 景気先行きの懸念材料・期待材料については、米中経済の先行きを懸念する企業の割合が多い。一方、「物価と賃金の好循環」「個人消費の回復」「米国景気の回復」への期待が引き続き高くなっている。
- 業績判断(「良い」－「悪い」社数構成比)は、産業総計では15.1と、5期ぶりに前回を下回った。業種別では、製造業は前回比▲9.2と大幅に悪化した。非製造業では同+4.3の改善となった。今後はいずれの業種も悪化した後、横ばいとなる見通し。
- 雇用判断(「不足」－「過剰」社数構成比)は、産業総計で概ね横ばい推移となり、依然として人手不足感が強い。
- 仕入価格判断・販売価格判断(ともに「上昇」－「下落」社数構成比)について、仕入価格判断は産業総計では若干の下落となった。販売価格判断は、産業総計では概ね横ばいとなった。
- 経営上の課題としては、「人手不足」と回答した企業が引き続き最も多い。
- トランプ大統領の関税政策については、業績がマイナスの影響を受けると回答した企業が産業総計で5割超と最も多い。関税政策に対する対応策としては、「特に対応の予定はない」「関税の影響を見極めた上で対応を検討する」の回答が多い。また、政府に対する要望としては「外交交渉」の回答が6割超と最も多い。
- 2025年春闘の妥結状況については、産業総計で「賃上げあり(ベースアップを含む)」との回答が8割超と最も多い。賃上げ率については、産業総計では加重平均で4.64%の賃上げ率であり、そのうちベースアップ分の賃上げ率は3.37%となった。賃上げを実施した理由については、「業績の改善は見られないが人材確保などのため実施」の回答が最も多い。

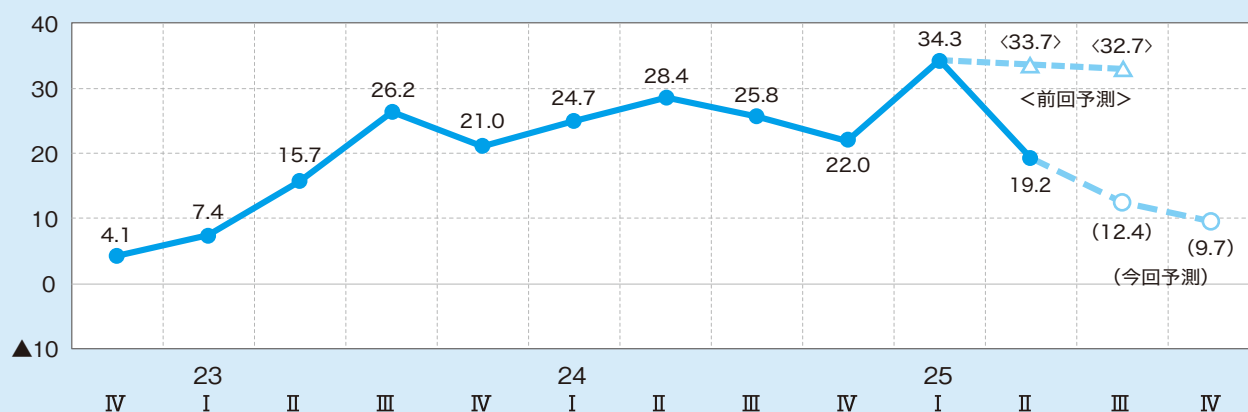
(1) 製造業の景況判断D.I.

〔現況判断：「良い」-「悪い」〕



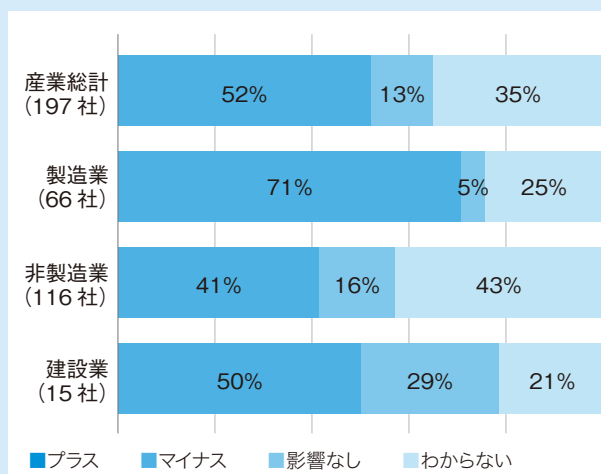
(2) 非製造業の景況判断D.I.

〔現況判断：「良い」-「悪い」〕



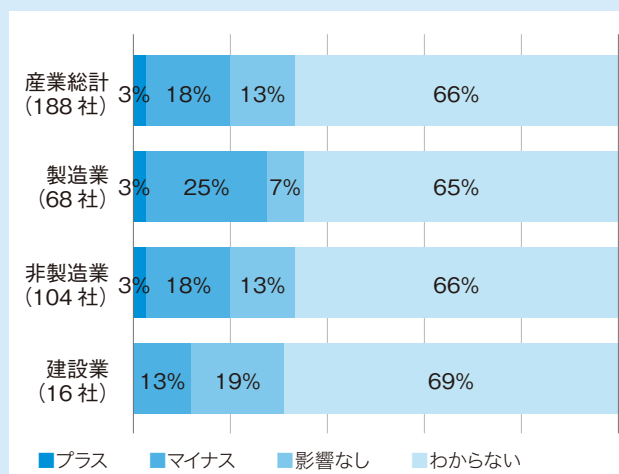
(3) トランプ大統領の政策について

業績への影響について



※四捨五入の関係で、合計値が100%を超える場合あり。

(参考・前回結果)



中経連では、四半期ごとに景気動向に関するアンケートを実施しており、時勢に合わせた設問や企業様の生の声を取りまとめております。本アンケートの詳細については、QRコードよりご覧ください。



お問い合わせ先：調査部

中経連会員の皆様へ

企業・団体のご紹介のお願い

本会の活動は会員の皆様からの会費によって支えられています。

本会の活動を引き続き活発化していくために

「仲間づくり」にご協力をお願いできないでしょうか。

皆様のお力添えを賜りたく、何卒よろしくお願いいたします。

《 お願いしたいこと 》

例えば、関係会社や取引先など、あなたのまわりで

- 提言活動や社会貢献活動など、地域の成長につながる活動に参加したい
- 事業拡大に向けて企業や大学と新たなネットワークを築きたい
- 地域の経済動向などについて整理された情報が欲しい など

といったニーズがある企業・団体などのご紹介をお願いいたします。

入会条件・会費

入会条件 中部圏の発展に向けて、本会の活動趣旨にご賛同いただける法人および団体

会 費 ●法人会員：180,000円（1口） ●団体会員：30,000円（1口）

※会費期間は4月から翌年3月までの1年間となります。※初年度は入会月から3月までの会費を月割りでご請求いたします。

ご紹介・お問い合わせの窓口

一般社団法人中部経済連合会

総務・会員サービス部 伊藤・小笠原

TEL:052(962)8091(代表) E-Mail:info@chukeiren.or.jp

中経連 入会



中経連HP「入会案内」



「明日へのチャレンジ」で 皆様の取り組みを紹介してみませんか

本コーナーでは、社会課題の解決、業務革新、
人材の育成などに積極的にチャレンジしている企業や団体をご紹介します。
中経連会員の皆様を中心に、広く取材先を募集しておりますので、
以下をご確認の上、ご連絡・お問い合わせください。
読者の皆様への情報発信はもちろん、新たな交流のきっかけになれば幸いです。

テーマ

デジタル化・DX

カーボンニュートラル

人材育成・確保

など

中経連が注力しているテーマを中心に、
「新たに始めた活動」「地域と一体となって取り組みたいチャレンジ」を紹介します。

掲載方法

取材の上、A4用紙2ページ程度で会報誌ならびに中経連HPに掲載いたします。

留意点

- ◆ 企業・団体などの活動紹介を目的としているため、個別の商品紹介や宣伝などの営利的内容はお控えください。
- ◆ お申込み状況・内容によっては掲載時期を調整させていただく場合がございます。

お問い合わせ先

[担当] 総務・会員サービス部 平山 [E-Mail] kikanshi@chukeiren.or.jp

発行日 2025年7月1日
発行所 一般社団法人中部経済連合会
〒461-0008
名古屋市東区武平町5丁目1番地
名古屋栄ビルディング10階
TEL:052(962)8091 FAX:052(962)8090
編集発行人 一般社団法人中部経済連合会 宮本 文武
制作 株式会社たきコーポレーション
印刷 西川コミュニケーションズ株式会社

- 本誌に関するご意見・ご感想をお待ちしております。
[E-mail kikanshi@chukeiren.or.jp](mailto:kikanshi@chukeiren.or.jp)
- 文責は事務局にあります。
- 落丁本・乱丁本はご面倒ですが中経連機関誌担当
までお知らせください。お取り替えいたします。
- 本誌記事・画像の無断転載・複製を禁じます。

「中経連」次号は2025年9月1日発行予定です。

本誌は再生紙を使用しております。


一般社団法人
中部経済連合会

中経連

<https://www.chukeiren.or.jp>

2025.7・8 Vol.378

7 July

- 3 (木) 三重県との懇談会・懇親会 [ホテル津センターパレス]
- 8 (火) 名古屋市との懇談会・懇親会 [ホテルメルパルク名古屋]
- 9 (水) 三重地域活性化委員会および会員懇談会・交流会 [都ホテル 四日市]
- 14 (月) 愛知県との懇談会・懇親会 [KKRホテル名古屋]
- 15 (火) 岐阜地域活性化委員会および会員懇談会・交流会 [岐阜グランドホテル]
- 22 (火) 7月度正・副会長会、7月度総合政策会議、会長定例記者会見 [名古屋栄ビル]
- 24 (木) 第1回経済委員会／第1回産業・技術委員会 講演会(合同開催) [名古屋栄ビル]

8 August

- 25 (月) 静岡県との懇談会・懇親会 [中島屋グランドホテル]

9 September

- 1 (月) 9月度正・副会長会、9月度総合政策会議、会長定例記者会見 [名古屋栄ビル]
- 4 (木) 長野県との懇談会・懇親会 [シャトレーズホテル長野]
- 8 (月)～20 (土) 海外経済視察団



2025年大阪・関西万博 (EXPO 2025)

2025年4月13日(日)～10月13日(月)開催

公式キャラクター「ミヤクミヤク」プロフィール

出生地	関西のどこかにある小さな湧水地。
性格	人懐っこいが、おっちょこちょいでよくボカをする。
特技	色々な形に姿を変えられること、雨上がりに虹を見つけること。
好きなこと	あらゆる生き物や物事と触れ合うこと。

<https://www.expo2025.or.jp/> ©Expo 2025

